

がん診療連携拠点病院の指定を受けました

浜松医療センターは、引き続き厚生労働大臣から地域がん診療連携拠点病院として指定を受けました（指定期間は、2019年4月1日から2023年3月31日まで）。

地域がん診療連携拠点病院とは、全国どこでも質の高いがん医療を受けることができるよう、がん医療の均てん化（全国どこに住んでいても、等しく質の高いがん医療を受けられること）を目的とし、各地域における、がん診療の連携・支援を推進するため国が指定する医療機関です。

これにより、静岡県西部地区におけるがん診療の中心的病院として他の医療機関との連携を深め、今まで以上にがん診療機能の充実を図り、早期発見、早期治療を目指した専門的な治療体制を確立し、高度で良質な医療の提供を目指します。



Topics

～2月から5月までの主な出来事を振り返ります～

2.28 当院ホームページ リニューアル



当院ホームページがリニューアルしました。スマートフォンからも快適に閲覧いただけるようになりました。

2月

3月

3.13 研修会の開催

第1回アレルギー疾患医療拠点病院研修会を開催し、約70名の医療従事者の方々に参加いただきました。



4.26 看護学生によるハンドベル演奏会



看護学生による、趣向を凝らしたハンドベル演奏会を当院講堂にて開催していただきました。

4月

5月

看護の日(看護週間)

看護の日(看護週間)は、ナイチンゲールの誕生日に由来します。今年は、看護師による血管年齢チェックや握力のチェックも行いました。



ふれあい



増設棟の屋上にある庭園です。季節ごとに花々が植え替えられており、和ませてくれます。出入口は3号館6階になりますので、是非お立ち寄りください。

目次

- ① がん診療連携拠点病院の指定を受けました
- ② 健診センターより
- ③ Topics



発行：浜松医療センター
〒432-8580 浜松市中区富塚町328
TEL 053 (453) 7111
URL <https://www.hmedc.or.jp>

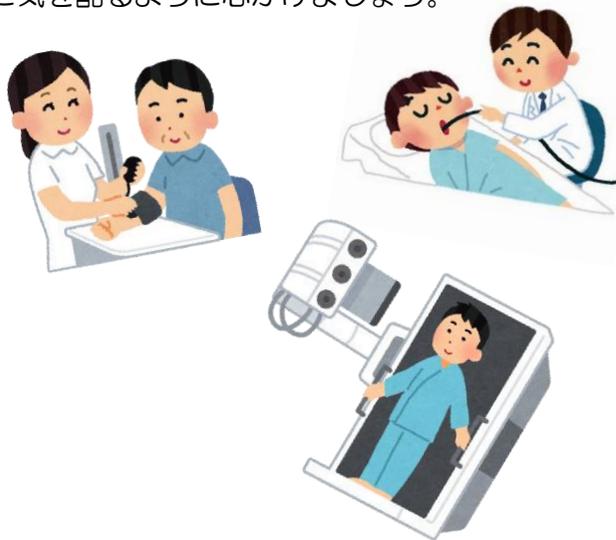


ご自由にお持ちください

一年に一回、健診を受けていますか？

健康診断は「健康」という名が示すように健康の保持増進のために、その時の健康状態を調べ、からだ全体から情報を得ることが主な目的です。人間は25歳あたりからをピークに一日一日老化していきます。若さと健康に自信があっても老化は避けられません。老化に伴い、からだの中では様々な変化がおきます。その変化を知るだけでも健康診断の必要性が高まります。

また、早期に異常を発見することで生活習慣を見直し、糖尿病や高脂血症、高血圧といった生活習慣病に罹患することを防ぐことができます。仮に病気が発見されても、自覚症状がないうちに治療を始められるきっかけとなります。健康診断を「そのうち」とか「仕事で忙しいからできないのは仕方がない」と考えている方は、ぜひ健康診断を受けて自分の健康状態を知り、日ごろから健康に気を配るように心がけましょう。



LOX-index (ロックスインデックス)

当院健診センターでは、一般健診のほか、各種オプション検査を取り揃えています。オプション検査は受診者の要望に合わせ、より専門的に細やかに体の状態を調べる検査です。今年度より始まるオプション検査をご紹介します。「LOX-index」(ロックスインデックス)は採血で脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを調べる検査です。脳血管疾患・心疾患は日本人の死因の上位にあり、動脈硬化が主要因となって引き起こされます。動脈硬化性の疾患は、突発的に発症し命を奪うこともあるため、予防意識・リスク管理が重要です。興味を持たれた方は、健診センターまでご連絡ください。

新規オプション検査

脳血管疾患・心疾患の年間死亡者数はがんと同水準
「4人に1人」が動脈硬化を一因とする疾患で亡くなっています。

喫煙
運動不足
肥満
高血圧
偏食

脳梗塞・心筋梗塞の将来リスクお調べします!

脳梗塞
寝たきりの原因にもなる疾患。
「3人に1人」が死亡か後遺症に

心筋梗塞
突然死の危険のある疾患。
年間「約15万人」が発症。

新しい検査で発症危険度をチェック!
血液検査でわかる脳梗塞・心筋梗塞の可能性

LOX-index

ロックス・インデックス

検査の特徴

- 動脈硬化の原因物質を測定
血液中に漂っている動脈硬化の原因物質の量を調べる
一酸化窒素(LDL)
- 採血(約2ml)で検査可能
- 脳梗塞・心筋梗塞の将来の発症リスクを予測
検査では血液中の酸化した脂質(オキシ化LDL)と、それを血管の壁に取り込んで動脈硬化を進ませる「LOX-1」というたんぱく質を測定します。検査によって動脈硬化の進行を予測する指標と組み合わせ、動脈硬化の進行から将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症危険度(リスク)を予測いたします。

ジャパン・マンモグラフィーセンター



10月の第3日曜日(10月20日)はジャパン・マンモグラフィーセンターです。これは『日本乳がんピンクリボン運動(NPO法人J.POSH)』が日曜日の乳がん検診実施を呼びかけているものです。(当センターでは、11月17日も実施します)

乳がんにかかる女性は年々増えており、年間9万人もの女性がかかるといわれています。女性のがんの罹患率第1位で、特に40、50代の女性の発症率が高い傾向がみられます。毎日を仕事、家事、子育てと忙しく過ごしている女性のみなさん、この機会に乳がん検診を受けてみませんか?乳がんのセルフチェックについてもご指導いたします。



乳がんにかかりやすい人
□ 家族(祖母、母、姉妹)内で乳がんになった人がいる
□ 初潮が早く(11歳以下)、閉経が遅い(55歳以上)
□ 初産年齢が遅い(30歳以上)、または出産経験がない

浜松市にお住まいの方で40歳以上(令和元年度偶数年齢)の方は、がん検診受診券を利用して受診することもできます。

「乳がん検診(マンモグラフィ)ってどんなことをするの?」「がん検診受診券はどうやって取り寄せるの?」等、いろいろなご質問に健診センタースタッフがお答えします。お気軽にお問い合わせください。

浜松医療センター健診センター
☎053-451-2733(直通)
(平日8:30~17:00)